

設置イメージ

ポスター

解説

ここにある、このころ。
やさしさの巡る街、茅ヶ崎



茅ヶ崎市バリアフリー基本整備推進協議会市民部会
イラスト：Loose Drawing

令和3年12月 内部障がい

- ・登場人物 ヘルプマークを所有する内部障がい者
- ・場面 電車の車内
- ・気づき 席に座っている方がヘルプマークに気づく
- ・行動 声掛けをし、相手の気持ちを確認し、席を譲る

ヘルプマークを持つ内部障がいの私から

ヘルプマークは援助が必要な方のマークです。体調によって立っていることが辛い時があり、このやさしい声掛けが安心につながります。今までまわりに障がい者や介護が必要な人がいませんでした。しかし自分が2年前に病気に交って、初めてわかったことがたくさんあります。例えば、電車で乗るだけでこんなに息切れがするなんて思いもしませんでした。辛い理解のある会社のおかげで仕事を続けていますが、毎日の通勤ではとてもつらい思いをしています。青広を着た30代の会社員の男の私が優先席に座るわけにもいかないし...と思っていたら、「ヘルプマーク」というものがあると教えてもらい、さっそくカバンに差けてみました。それは外から見えない障がいや病気のある人が、手助けが必要な時につけるものだそうです。先日たまたまそれを見た女性に席を譲ってもらいました。申し訳ない気もしましたが、正直体調が悪かったので本当にありがたかったです。自分がこうなる前は想像もしていませんでしたが、これからはできる限り必要の人に手助けをしようと思っています。



“ここにある、このころ。やさしさの巡る街、茅ヶ崎”-1

※ポスターの内容説明
登場人物、場面、気づき、行動

※ポスターに関連するエッセイ

